



★2021年度も、さまざまな資料が地域資料室に入りました。その一部を紹介します。

	資料名	著者	出版社	内容	貸出
L069	斎宮平安五種競技	斎宮歴史博物館/編集	斎宮歴史博物館	博物館	×
L121	伊勢人宣長		鈴屋遺蹟保存会本居宣長記念館	人物	×
L223	はづ 第3集	羽津郷土史と民俗研究会/編集	羽津郷土史と民俗研究会	神社	○
L204	寺院に伝わる戦国の残像		三重県総合博物館	歴史	×
L205	災害とたたかう大名たち	藤田達生/著	KADOKAWA	歴史	×
L223	采女城主後藤家の興亡	稲垣哲郎/著	采女城跡保存会	歴史	○
L289	本多忠勝と桑名	桑名市博物館/編集	桑名市博物館	歴史	×
L290	団体旅行の文化史	山本志乃/著	創元社	紀行	×
L290	日本の観光 2	谷沢明/著	八坂書房	地理	○
L290	三重のトリセツ		昭文社	地理	○
L290	日本歴史地図帳		昭文社	地理	×
L386	松阪まつりの四季	川口保/著	川口保	民俗	○
L482	鈴鹿のかもしか	佐久間孝司/著	リーブル出版	自然	○
L483	ヒルは木から落ちてこない。	樋口大良/著	山と溪谷社	自然	○
L488	桜ウォッチング		桜地区社会づくり推進協議会	自然	○
L518	グリーンパーク岡山		県地区まちづくり委員会	自然	○
L519	公害スタディーズ	安藤聡彦/編著	ころから	環境	×
L519	さよならテレビ	阿武野勝彦/著	平凡社	環境	×
L573	愛されつづける萬古焼	松阪市文化財センター/編集	松阪市文化財センター	産業	○
L601	社長100人博士化計画	西村訓弘/著	月兎舎	産業	○
L671	伊勢商人の世界	後藤隆之/著	黎明書房	産業	×
L675	酒票の美	筆の里振興事業団/編集	筆の里振興事業団	産業	○
L682	歴史と文化を訪ねる日本の古道・五街道 1		教育画劇	街道	×
L683	近畿日本鉄道沿線アルバム 特急車両編	牧野和人/解説	アルファベータブックス	交通	×
L684	近畿日本鉄道沿線アルバム 一般車両編	牧野和人/解説	アルファベータブックス	交通	×
L685	でんしゃすきなのだーれ	岡本雄司/さく	福音館書店	交通	×
L686	近畿日本鉄道のすべて	「旅と鉄道」編集部/編	天夢人	交通	×
L687	でんしゃ		学研プラス	交通	×
L688	DD51形輝ける巨人	徳田耕一/文・写真	交通新聞社	交通	×
★ L689	踏切の世界	chokky/著	天夢人	交通	×
L693	郵便でみる四日市	小坂彰宏/著	日本郵趣会	通信	○

※貸出欄が「×」となっても、地域資料室以外や市内の別の図書館で貸出できる資料もあります。

※★印は、「Pick up!」でとりあげた資料です。

→裏面へつづく

四日市市立図書館地域資料室だより 臨時号 「2021年度に入った地域資料」

	資料名	著者	出版社	内容	貸出
	L718 三重の仏像		三重県総合博物館	仏像	×
	L724 伊藤利彦		パラミタミュージアム	美術	○
	L726 さんぽさんぽさんぽ	こばやしけんぞう/え・ぶん	かど創房	美術	×
★	L732 一刀一絵	立原位貫/著	ポプラ社	美術	×
	L753 KATAGAMI Style	馬淵明子/ほか監修	日本経済新聞社	工芸	×
	L756 三重刀剣紀行	桑名市博物館/編集	桑名市博物館	工芸	×
	L762 四日市「うた」ものがたり 	黒田加恵/著	四日市地域ゆかりの「郷土作家」顕彰事業委員会	音楽	○
	L789 忍者学研究	山田雄司/編	中央公論新社	武術	×
★	L800 方言ずかん	篠崎晃一/監修	ほるぷ出版	言語	×
	L902 藤井鬼白の魅力とその世界	師岡忠至/監修	藤井鬼白顕彰会	文学	×
	L911 明治の鬼才 董月一露	志水雅明/著	志水舎	文学	○
	L913 菜の花の杜 3	平賀節代/編	菜の花会	文学	×
	L913 伊賀の人・松尾芭蕉	北村純一/著	文藝春秋	文学	×

※貸出欄が「×」となっても、地域資料室以外や市内の別の図書館で貸出できる資料もあります。

※★印は、「Pick up!」でとりあげた資料です。

Pick up! 新刊の中から、担当職員が気になった本を紹介します!



『踏切の世界』 Chokky/著, 天夢人 (L686//22)

引退した貨物列車「DD51」に関する本、子どもから楽しめる絵本など昨年度は、鉄道に関する本がたくさん入りました。そのなかでも全国にあるユニークな「踏切」にスポットを当てた同書。市内のものでは、言わずと知れた「臨港橋」の踏切のほか、三岐鉄道 山城駅付近にある「電鐘式」という懐かしい音のする踏切などが紹介されています。市内にしながら全く知らなかった、気にしていなかった踏切の存在。実際に見に、音を聞きに行ってみようかな?

『一刀一絵』 立原位貫/著, ポプラ社 (L732//10)

「自分も彫ってみたい」。歌川豊国の描いた美人画の団扇絵に、懐かしさと甘酸っぱさを感じて独学で研究を始め、江戸の色彩を現代に甦らせた男の半生を綴った本。

四日市市になじみがあり、『文化展望四日市 第12号』(四日市市文化振興財団)では勝原伸也名義でインタビューを受けている。また、『竹取物語』(江國香織/文, 新潮社)では、版画で竹取物語の世界観を彩っている。

※本文中の2冊も、四日市市立図書館に所蔵あり

『方言ずかん』 篠崎晃一/監修, ほるぷ出版 (L818//21)

方言って面白いですね。その地方独特の言葉を口にしてみると、どんな所なのだろうと想像し、楽しくなってきます。動きを表す言葉もいろいろ。地域によって、「このごみ、ほっといて」なんてお願いすると、ずっとごみはそのままになっていたり、「私、今ちょっとえらいかも・・・」なんて言うのと「何自慢してるの」なんてことにもなったりするかもしれません。この本では、日常の言葉を、地方で比較したりイラスト入りで説明したりしながら、わかりやすく紹介しています。方言を使った映画やアニメを紹介しているページもありますよ。いっぺん読んでみやへん?



四日市市立図書館 〒510-0821 四日市市久保田一丁目2番42号

Tel 059-352-5108 Fax 059-352-9897

開館時間/(平日)9:30~19:00(土日祝)9:30~17:00 休館日/月、第2,4火、年末年始、特別整理期間